



2021年度 南地区 市政懇談会

次 第

[日時] 2021年10月4日 (月) 18:30~20:00

[場所] 南市民センター ホール

司会進行： 市民協働推進担当部長 大貫 一夫
南地区町内会・自治会連合会 副会長 岡庭 清

○ 連合会長の挨拶

南地区町内会・自治会連合会 会長 長谷川 義剛

○ 市長の挨拶

町田市長 石坂 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

- 1 コロナ禍での自然災害等発災時の避難施設対策について **【防災安全部】**
- 2 町田市立小・中学校および市民センター施設の統廃合計画について **【市民部】 【学校教育部】**
- 3 統合校舎をセントラルパークに建設することの是非について **【学校教育部】**
- 4 小・中学校の通学路安全対策について **【学校教育部】**

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 南地区町内会・自治会連合会 須藤 晏男

**2021年度 南地区町内会・自治会連合会 市政懇談会
議事録(要旨)**

[日 時] 2021年10月4日(月) 18:30～20:00

[場 所] 南市民センター ホール

[出席者] 町田市長 石坂 丈一

防災安全部長 水越 祐介

市民部長 樋口 真央

学校教育部長 石坂 泰弘

政策経営部広報担当部長 遠藤 雅子

市民部市民協働推進担当部長 大貫 一夫

南地区町内会・自治会連合会長 ほか24名

事務局 市民部市民協働推進課 5名

市民部南市民センター長

司会進行：市民協働推進担当部長

南地区町内会・自治会連合会副会長

○南地区町内会・自治会連合会長の挨拶

○市長の挨拶

○職員の紹介

○市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 コロナ禍での自然災害等発災時の避難施設対策について

新型コロナ対策で市指定避難施設の収容人数が減少されています。それに伴い、自宅が安全で避難施設に行かなくても済む場合は、自宅で避難生活を送る「在宅避難」をしてほしいと市では言われています。そこで、質問します。

(1) 市指定避難施設を補う避難施設として、地域の町内会館等の利用も有効だと思います。町内会館等を利用する場合、市指定避難施設同様、市から支援物資を届けてもらうことはできますか。

(2) 「在宅避難」を促進するための対策等をお知らせください。

【回答】

防災安全部長

(1) まず備蓄の考え方として、市民の皆様には最低3日間の水・食料等の備蓄は準

備していただくように、お願いしております。

そのうえで、大規模災害が発生、長期化した場合には、多くの被災者に迅速かつ安定的に物資を供給する必要があることから市の避難施設に食料等の物資の供給拠点を設置し、物資を配給することになっております。

在宅避難されている方と同様に、町内会館等を地域の避難施設としてご利用される場合にも、市の避難施設に物資を受け取りに来ていただくこととなります。

なお、日常備蓄の重要性に関しては、11月に開催予定の自主防災組織リーダー講習会など、様々な機会を活用して、お伝えしていきたいと考えております。

また、来年度は、自主防災組織班長講習会や避難施設関係者連絡会などを通して、継続して地域の方にお伝えしていきたいと考えております。

(2) 在宅避難の促進の対策については、自宅に留まる在宅避難のほか、お近くの親類や知人宅へ避難するなど、その時々における最善の方法で「難」を避けることが肝要であることを、あらゆる機会を捉え、普及啓発に努めております。加えて、年に1回、広報まちだで風水害の特集号を組み、その中に在宅避難の意義、重要性を盛り込んだ紙面を設けて市民の皆様へ周知しております。

11月に開催予定の自主防災組織リーダー講習会などの機会も活用しつつ、来年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できていない、避難施設関係者連絡会や自主防災組織班長講習会などを活用し、引き続き、周知に努めてまいります。

あわせて、在宅避難を推進するにあたり、自宅内の家具の転倒やガラスの飛散などがないということが前提となりますので、転倒防止器具やガラス飛散防止シートなどの有効性の周知を積極的に行ってまいります。

《質疑》

南つくし野自治会

先ほど11月改正されると聞こえたのですが、何が改正されるのですか。

防災安全部長

11月に開催を予定しておりますのは自主防災組織リーダー講習会です。そちらを活用してさまざまな周知をしてまいりたいと思っています。

南つくし野自治会

物資を受け取りに行くということでお話が終わったのですが、すずかけ会館で一応備蓄を持っております。配達していただくと助かりますが、各施設への配布は煩雑でできないのでしょうか。

防災安全部長

我々が支援物資をお届けするのが発災後最短で4日以降となります。3日目までは先

ほど申し上げたとおり自助ということで、ご自分で用意していただくのが前提となっています。4日目以降となると、被災の状況にもよりますが、発災後という混乱している状況で、市の職員も含めてそこまで手が回らないのが現状であると認識しています。恐らくボランティアの組織もできてないと考えられます。そういった意味で取りに来ていただくのが原則となります。その後につきましては、さらに長期化してくることになれば、状況によっていろいろ検討していかなければならないかと思えます。

南つくし野自治会

会館から取りに行くときは、かなりの人数が来るので、かなり多くのものを受け取りに行くようになります。そういうときに、何か方向性ができていれば、会館から何人お願いしますとか、具体的なことが言えるかと思いました。これからそういう形で進めていただければと思います。

小川自治会

町田市「まちだ未来づくり2040」で、「減災・防災に向けて」の「町田市国土強靱化地域計画」の中で、現在町田市地域防災計画はありますが、今後の話として「災害が起きる前の平時から、事前減災・防災等、迅速な復旧・復興に資する施策をあらかじめ総合的かつ計画的に実施します」と書かれています。たしかに体育館は避難がもう難しいと思います。従来であると1mということだと数えると、2m2mで避難者が入りきらないと思います。自宅避難がベストだと思いますが、以前、町田市でも転倒防止の器具とか無料か抽選で配布されましたよね。そういうことも「総合的かつ計画的に実施する」の中に入るかと思えます。会館等も防災用品を普段備蓄していないので、市のストックとして会館を利用していいとなれば、そういう面の補助的なものもやっていただかないと、ただ会館に逃げればいいわけではなく、そこで生活する必要があります。ぜひとも「総合的かつ計画的に実施する」というところで、そういうこともご考慮いただきたいと思えます。

防災安全部長

今いただいたことはしっかりと肝に銘じて対策を進めてまいりたいと思えます。

小田急金森泉自治会

災害が発生した時に、水の確保と運搬が問題だと思います。水は結構重いので、大変不安だと思っています。現在の所在を洗い直して、弱点を補完するような施策を可能性調査で結構ですので、やっていただきたいと思います。食べ物はなくとも、水がないと死んでしまう。水があれば、流すとか、手を洗うとか、衛生面で非常に大事なものではないかと思っています。まず断水したことを大前提で考えなければいけないのですが、今、水道管の耐震化工事がされていますが、避難施設の周辺、大きな病院の近く、

駅の周辺といった重要な施設の周辺だけで、全部は耐震化されていません。水道管は水圧がかかっていますから、地震の時に外れてしまいます。一箇所でも外れれば断水してしまいます。そのときに市の上下水道の復旧目標があり、30日と計画の中には書いてあると思います。

それに対して、我々が、自助、共助、公助という三つの事前の備えをどうすればよいのかということになったときに、まず自助というのが3日間分を備えます。もちろんそれ以上の方も、全くないという方もいらっしゃいます。次に共助、公助になり、三つあると思います。一つは給水拠点がすでに用意されています。15箇所あり、5万 m^3 くらい用意されています。43万人で割ると一人0.12 m^3 で120キロ、結構な量です。ところが、貯蔵している場所と人口集中度の間に整合性がありません。相原とか西の方に多く水があって、町田とか南地区の方は、人口は多いが水の量が少ないです。そうすると誰が水を運ぶのかという問題があります。

もう一つが災害時協力井戸というのがあります。民間の方が持っている井戸を市に登録していただきます。南地区だけでも防災マップを見ると30数か所もあります。もともと河川沿いとかは古い井戸でも大丈夫ですが、高いところにある井戸は、宅地化によって降る雨が全部下水道に流れてしまい、枯れている井戸もあると聞いています。そういうところの実態は防災課に聞いても公開していないというお返事でした。2年に一度水質の検査もやられているようですが、本当に知りたいのは協力井戸をどのくらいやっているのかということです。個人の井戸のため難しいとは思いますが、実態が知りたいです。ウィークポイントになると思うのでそういうところを埋めていってほしいです。

最後に公助のもう一つの機能である自衛隊問題です。町田は陸の孤島であるため東京都の支援がなかなか届きにくいです。他の市区町村に比べて遅いです。先ほど4日目からとおっしゃっていましたが、本当に届くのでしょうか。そういうウィークポイントを補完していただくような施策をしていただきたいと思います。

防災安全部長

今ご指摘いただいた水の話が重要という話は、我々も理解しております。給水拠点については市内の人口密度に応じて全地域的にはカバーできるような計画で配置はしています。基本的には東京都で実施しているのですが、穴があいてしまうところは市の方でペットボトルをそれなりの量の備蓄をして保管をしています。何の手も打っていないということではありません。今後の話については、おっしゃるとおり現実問題としてそれがどう機能するのか、運搬用のバックなども用意しておりますので、そのようなものも活用していただくこととなります。国土強靱化の話ではないですが、今後も引き続き取り組みをブラッシュアップしていきます。

4日目以降の話については、町田市は地図で見ると陸の孤島のようにも見えますが、都の一部でもあり、26市町村会のメンバーでもありますので、分け隔てなく届きます。市でも独自に様々な業界の方と協定を結んでおりますが、問題意識としては持ってまい

ります。

成瀬が丘自治会

(1) で地域の町内会館等が利用できるのではないかとありますが、今のお話ではそれぞれの自治会で独自に自主的にやる部分があると思います。そういうことをリストアップするということは今のところないということによろしいでしょうか。

防災安全部長

町内会独自の活動について全て網羅的に押さえているわけではありません。ただ共助という部分でしっかりとお願いしたいです。市でもできる支援はしたいと考えております。

2 町田市立小・中学校および市民センター施設の統廃合計画について

市民にとって最も身近な公共施設として親しまれている小・中学校や市民センターの再編、統廃合の計画が進んでいることは承知していますが、これらの計画のうち南地区で暮らすわたしたちの暮らしに直接かかわる部分（学校区、通学路の安全、統廃合による避難施設の減少、行政窓口のありかた）について、今後の予定をお知らせください。

【回答】

市民部長

町田市では、将来にわたって必要な公共サービスを維持向上させるため、公共施設のより良いかたちを実現することを目指し、2018年6月に「町田市公共施設再編計画」を策定いたしました。

市民センターにつきましても、限られた財源の中でより良い行政サービスが提供できるよう、将来を見据えた長期的な視点で市民センター等の機能のあり方について示す「町田市市民センター等の未来ビジョン」を今年2021年3月に策定いたしました。

策定にあたりましては、2020年9月から12月にかけて、市内10地区の全ての地区協議会へのインタビューを実施いたしました。また、全ての市民センター・コミュニティセンターにおいて、センター利用者を対象としたワークショップを実施するとともに、公募による市民ワークショップ等を実施いたしました。さらに、12月から2021年1月にはビジョンの素案に対する市民の皆さまへの意見募集を行い、多くの方のご意見をビジョンに盛り込むことができました。

このビジョンでは、市民センター等が「便利で楽しい地域の拠点」となることを目指しております。行政窓口における手続きにつきましても、例えば、子育てや介護の申請などを、スマートフォンから24時間いつでも、どこからでもできるようにするなど、手続きのデジタル化を推進するとともに、今まで以上に、安心して窓口で相談ができるようにしてまいります。また、集会施設につきましても、管理運営手法の見直しを行う

とともに、地域の拠点、魅力的な施設として充実させていくこととしております。

今後の予定についてでございますが、今年度2021年度と2022年度にビジョンに基づく具体的な取り組みを検討してまいります。現在は、市役所において検討を進めており、その後は学識経験者や市民委員等で構成する市民センター等の未来ビジョン推進委員会での検討や、市民の皆さまのご意見をお聴きし、決定していきたいと考えております。

学校教育部長

議題2の「町田市立小・中学校および市民センター施設の統廃合計画について」お答えいたします。

町田市教育委員会では、2040年度までに児童・生徒数が約30%減少する見込みである状況や、学校施設の深刻な老朽化が進行するといった環境変化に対応しながら、より良い教育環境をつくるため、2021年5月に「町田市新たな学校づくり推進計画」を策定しました。

本計画では、2040年度までに小学校を42校から26校、中学校を20校から15校に統合しながら、まちだの未来の子どもたちにより良い教育環境をつくるとともに、今まで以上に学校と地域がつながりを持てる拠点として学校施設を整備していきます。

あわせて、地域コミュニティとの関係を踏まえ、町区域に基づいた通学区域に変更していきます。

次に、南地区の学校統合等についてご説明いたします。南地区には、現在小学校が7校ございますが、学校統合等を行い、2037年には5校にしていく予定です。

具体的には、南第三小学校と南第四小学校の学校統合、つくし野小学校と南つくし野小学校の学校統合を予定しており、南第一小学校と南中学校につきましては、学校統合を伴わない、単独での建替えを予定しております。

その他、鶴間小学校、小川小学校、つくし野中学校につきましては、本計画における校舎建替え等はありませんが、順次通学区域の変更を行っていきます。

次に、通学路の安全についてですが、こちらについては議題の4でお答えいたします。

なお、通学路をはじめとした統合新設校の設置に向けた検討課題については、町田市新たな学校づくり推進計画で示す基本計画検討着手年度の前年度を目途として統合対象となる学校ごとに開催する意見交換会で、保護者や地域の方からご意見をうかがいたいと考えております。

《質疑》

グランセリーナ自治会

学校の方は統廃合のことを伺いましたが、市民センターの方はよくわからず、具体的な検討はこれからという説明でした。全くしていないのでしょうか。少しでもお話しただけのところがあれば教えていただきたいです。

市民部長

今、庁内検討をしています。その後改めて具体的な取り組みをしていくことについて、皆さまのご意見をいただきます。統合については、今お話しできることは残念ながらございません。

グランセリーナ自治会

統廃合は、機能の一部をスリム化して相談窓口の特化するだとか、そういう方向でとらえることもできると思うのですが、いかがでしょうか。

市民部長

おっしゃるとおりでございます。今、マイナンバーカードなどを使い、コンビニエンスストアでいろいろな証明書が取れるよう進んでいます。現在、証明書を発行している中で約17%の方がコンビニ交付を利用しています。コンビニでお取りになると金額も半額になるという利点もございます。一層そういったものが進んでまいりますと、行政窓口というのは証明の発行というよりも、皆さまの色々なご相談に応じる場所になっていかなければいけないのではないかと考えております。それをどう具体的に進めていくか、話し合いを進めているところでございます。

南つくし野自治会

8月に教育委員会にお電話をし、統廃合の説明をお願いしましたが、2回ほどお約束いただいたにも関わらずコロナ感染拡大で行けませんでした。その後、役員会などで話が出てくる中で、南つくし野小学校は772名生徒がいますが、来年も人数が増えるそうです。教室にすごく困っている状況であります。いずれまた少なくなってくると思いますが、1980年に設立され、もともと学校用地ではなかったということで近隣の反発があり、今でもその影響が残っているという話を聞いております。その中で、最初に学校を建てられたときには何人くらいの在校生を見込んで建てられたのでしょうか。

今、40周年を迎えて何年か経つので、これから10年後、2030年くらいになると在校生の数が減ると思いますが、どれくらいの人数を見込まれているのか、お聞きしたいと思います。これも複編成があると聞いているがよくわからず、地域の皆さんから質問を受けても答えられないので学区編成がありましたら、10年後南つくし野小学校にはどのくらいの子どもたちが残るのか知りたいです。

それと、単独改築と学校統廃合とありましたが、これはどうしてそう分かれたのか知りたいです。

学校教育部長

どのくらいの児童数を見込んで学校を建てたかというのは、昔ですと小学校42人学級で4クラス、6学年が多かったです。今回策定した、町田市新たな学校づくり推進計

画の中では、1校あたりの望ましい学級数を18学級から24学級、1学年多くて4学級、というスケールで考えております。ご心配の南つくし野小学校については、まだ児童数が増える見込みがあり、35人学級に対応する必要があるため、増築を行います。今想定している児童・生徒推計ですと、ここ2、3年でピークを迎えるのではないかと考えています。これから先、児童数が増え続けるという想定はしておりません。

南つくし野小学校とつくし野小学校の統合は、南つくし野小学校単独での建替えではなく、例えば隣接する学校と規模を踏まえた統合を考えています。単独で建替えを行う学校は、大きな学校や、もともと大きな学校で隣接する学校も大きくて統合が難しいという学校ですが、つくし野小学校と南つくし野小学校は、合計した学級数が18学級から24学級の範囲に入るということで、統合の対象としております。単独校の場合は、近接の学校で小さな学校がなく、大きな学校同士だと学級数が望ましい学級数に収まらないため、単独での建替えを考えております。

南つくし野自治会

大きいところはそのままであると考えていいですか。

学校教育部長

大きいだけでなく、近接した学区で、例えば隣の小学校がすごく小さな学校の場合には統合します。南つくし野小学校とつくし野小学校の場合は、つくし野小学校は規模が小さくて、南つくし野小学校と合わせて18学級から24学級の間に入りますので、統合の対象としています。

南つくし野自治会

今772人ですから、南つくし野はどのくらいの数になるでしょうかおおよそわかりますか。

学校教育部長

2030年と2040年で推計していますが、2021年は715人ですが、2030年は613人、2040年は623人と、ほとんど変わりません。

南つくし野自治会

学区編成というのはいつ頃開始されますか。

学校教育部長

基本的にはそれぞれの小学校、中学校を統合するときに合わせて学区編成をしていきたいと考えています。今回、建替えの方に入っていないところの学区編成についてはいつ頃と言えませんが、まずは建て替えをするときに合わせます。建て替えをまだ予定し

ていないところも地区的に合わされば、そこで学区編成をしていきたいと考えています。

3 統合校舎をセントラルパークに建設することの是非について

2021年5月に策定された「町田市新たな学校づくり推進計画」は、つくし野小学校と南つくし野小学校の統合校舎の建設候補地を、つくし野セントラルパークとしています。一方、セントラルパークのあるつくし野三丁目は「町田市住みよい街づくり条例」による「つくし野三丁目街づくりプラン」の適用区域（指定告示2019年10月）であり、同プラン「5-1（1）建築物等の用途」で、域内に「学校は建築できない」と規定しています。

統合校舎の建設候補地をセントラルパークとする「推進計画」と、学校は建築できないとする「地区街づくりプラン」とは、相反する状況にありますが、行政としてこれをどう考えているのか、どう整理されるかについて、お聞かせください。

【回答】

学校教育部長

議題3の「統合校舎をセントラルパークに建設することの是非について」お答えします。

「新たな学校づくり推進計画」で示しました“学校候補地”は、2020年6月に実施した「町田の新たな学校づくりに関するアンケート調査」及び「意見募集」を踏まえて、教育委員会が「児童・生徒の通学のしやすさ」や、「ゆとりある学校施設環境の整備」といった観点から選定しております。

推進計画では、つくし野及び南つくし野地区における統合新設小学校の建設候補地として、つくし野セントラルパークを挙げています。しかし、現在、学校が建設されていない候補地であり、そこに学校が建てられるかどうか実現可能性を含めた検討が必要なため、既に学校が建っている候補地から、つくし野小学校を次点の候補地として選んでいます。

「つくし野三丁目地区街づくりプラン」との整理についてでございますが、ご指摘のとおり、つくし野三丁目の域内に建築できる建物として学校は明記されておりません。そのため、「町田市住みよい街づくり条例」の趣旨を尊重し、区域内の地区住民等による3分の2以上の合意を得て、地区街づくりプランの変更がされなければ、つくし野セントラルパークに学校を建設することはできないと考えております。

このようなことから、プランを運用されているつくし野三丁目自治会と、「つくし野セントラルパーク」での“学校候補地としての実現可能性”について相談させていただきたいと考えております。

そのうえで、つくし野及び南つくし野の各小学校区域のお住まいの皆様と相談をさせていただき、新たな学校づくり推進計画で示す基本計画検討着手年度である2030年度の前年にあたる2029年度までに統合新設小学校の建設予定地を決定したいと考え

ております。

《質疑》

つくし野3丁目自治会

先日も9月26日に教育委員会の皆様にもつくし野小学校に来ていただいてご説明をいただき、どういうプロセスで進めていくつもりか、よく理解しているつもりです。一方で、つくし野の住民としては推進計画につくし野セントラルパークの名前が候補地として挙がっているということ自体で、非常に大きな不安、不満を抱えている状況です。まちづくり委員ということで日々色々なメールをいただきますが、彼らとしては2030年まで待てず、この半年だけでも相当なストレスを住民の方たちは抱えています。説明会にも173名がいらっしやっています。それだけ皆さん非常に興味があるという状況です。セントラルパークを候補地から早期に外していただきたいというのが我々の思いです。そのあたり、いかがでしょうか。あくまでも、2029年度ということに拘るのか、我々との相談次第では候補地から外してもらうことも可能なのでしょうか。

学校教育部長

この件に関しましては、2029年度まで無理に引っ張るつもりはありません。先ほども申し上げたように3分の2の方の賛成がなければ変えられないものです。それが難しいと判断した時点で、次点の候補地に市としては考えを変えていかなければいけないと思っております。今回はアンケートなどをしましたが、セントラルパークとしたときに、地区連合とまちづくりの団体の皆さんには事前にご相談をしなかったことは非常に申し訳ないと思っております。こちらとしても無理矢理絶対ここでなければいけないということではありません。ただ、ここの位置ですと児童・生徒にとっては非常に都合がいいというところもあります。そういうことも含めて地域の皆様と話しをさせていただいて、その結果を受けて考えていきたいと思っております。

つくし野3丁目自治会

質問ではなく我々の意見としてお受け取りいただきたんですが、今「セントラルパークを守る会」が結成されています。激しい意見もありますが、我々は市の皆さんと対立するつもりもありませんし、統合計画全体に反対しているわけでもありません。穏便に進めたく、議員の方と意見交換するなど水面下で活動しています。地域の皆さんが抱えるストレスからすると、すぐにでも署名活動をするべきだとか、市役所前で抗議デモをやったらどうかという意見が出ています。それをちょっと待ってくださいと伝えていません。

まちづくりプランと計画に齟齬があるため、候補地から外しましたと市の判断ができると思いますが、住民の方が反対運動、署名運動を始めてしまえば、その反対を受けて計画を見直しせざるを得なくなると思います。是非早期に意見交換をしたいと思えます。

4 小・中学校の通学路安全対策について

2021年6月、千葉の八街市における通学路場での学童の痛ましい交通事故がありました。南地区でも2016年に南第1小学校の1年生が近くの市道交差点でダンプカーにひかれ亡くなりました。そして最近、南第4小学校の通学路でも危険な運転の自動車を多く見掛けます。これまでも通学路点検等を通じ、標識や信号の設置を要望してきましたが、なかなか要望通りかなえられていません。

八王子市でも「通学路交通安全プログラム」を策定運用しているようですが、「町田市通学路交通安全ガイドライン」はどのように適用されているか、具体例をお聞かせください。

【回答】

学校教育部長

議題4の「小・中学校の通学路安全対策について」お答えいたします。

「町田市通学路交通安全ガイドライン」の取り組みとしまして、市立小学校42校を2つのブロックに分け、それぞれ隔年で各学校からの安全対策の要望に基づいて、教育委員会、学校関係者、警察、道路管理者等との合同による通学路点検を実施しております。

2021年度につきましては、6月下旬から小学校20校について通学路点検を実施いたしました。

今回、千葉県八街市の事故を受け、2021年度に通学路点検を実施していない南第四小学校を含む22校につきましても、幹線道路の抜け道になっている危険な道路などの視点で緊急通学路点検を本日10月4日から実施しております。

また、今年度すでに通学路点検が終了した小学校で、先ほどの視点で緊急通学路点検の要望があった場合には、再度点検を行う予定であります。

通学路安全点検につきましては、保護者、地域の皆様にご協力をいただき実施しているものでございますので、安全対策の取り組みにつきましてご理解がいただけるよう周知し、児童が安全・安心に通学できるように今後も努めてまいります。

議題2の「通学路の安全」についてですが、通学路の安全対策や通学時の負担軽減等は、学校統合時の検討課題であると認識しております。具体的には、統合新設校基本計画検討会において、地域の実情を踏まえて、通学路の見直し、安全対策について検討いたします。

《質疑》

小川自治会

「町田市通学路交通安全ガイドライン」は2015年3月23日に策定され、3ページです。2015年から改訂されていませんよね。通学路点検を2年に1回行っているのはわかりましたが、この3ページだけの内容でよろしいのでしょうか。そのあたりを

ご検討いただきたいと思います。

学校教育部長

ガイドラインは基本部分を示しています。実際、学校ごとに必要なこと、地形的なこととは全て違います。通学路とかは学校で指定していますが、その選び方にしても違います。そのため、ガイドラインに落とし込むのは難しいと思っています。

各学校において2年に一度の通学路の点検は、学校関係者だけでなく警察や地域の皆さんと一緒にやっています。その時に共通の認識を持って、必ず一つずつ危険箇所確実に点検して、すぐに手が着けられるものはすぐに手を着けます。構造上難しいものに対しては、例えばカラー舗装ができないかなどを考えて対応するようにしています。この一冊に全て網羅できるものをつくるのは難しいですが、必ず一箇所ずつ点検しています。何十箇所も危険箇所が出てきた場合、全部解消できているかという点、信号や横断歩道の設置など道路の構造上どうしてもできないものがあります。警察がすぐに動けない場合もあります。難しいことではありますが、難しければどうすればよいかを考えて積み残さないように学校だけでなく警察等と一緒に考えてまいります。

西小川親和会

通学路の問題で最近、世田谷区で道路の段差の実証実験を始めたというニュースがありました。道路管理は市の管轄ですか。そうすると、警察の相談なしでも、あるいは相談しながらでもある程度のことは対応できるのではないかという感じがします。その辺のことを教えてください。

学校教育部長

実際、市道のことは町田市が道路管理者です。ただし、信号の設置は警察と権限が細かく分かれています。世田谷区は段差をつけています。ハンプの設置は市でできると思いますが、世田谷で実証実験を始めたので、その効果を見て効果的なものがあれば利用していきたいと思っています。ただ、スピードを抑えるというものなので、大きい道路用なのかと思います。新しい方法があれば取り入れていきます。

町田市長

追加ですが、最近の事例で上手くいっているのは、周りの住民がやろうと話し合いをして設置した例です。住民からの声がないとまずできません。どういうことかと言うと、車が通るときにかなりショックがきます。毎日震度2くらいの揺れがあります。そういう場所で暮らすわけにいけないので、そこも含めて皆さんが問題ないということで話し合いが成立して設置されました。その作業ができないようなところではまず無理だと思います。通学路など歩道が高い位置になく、狭いところでは難しいです。そういう意味では、具体的にどこでとなるのか、話し合いができないと難しいです。私どもは道路管

理者ですが、東京都道は南東建です。市道は町田市です。交通は全て警察の方で管理しているので、警察との相談も当然ないとできませんが、その前に住民が毎日揺れているのは嫌だという意見が来ますのでそれをクリアしてから設置することになると思います。

西小川親和会

ただ一点、安全に対しては自治会・町内会のボランティアで見守りをしています。こういう協力、もしくはこういう対策があるというお話をいただければ、地元の人たちと十分話し合える機会が増えてくると思います。是非検討していただきたいです。

学校教育部長

いつも皆さまには見守り活動とかを通して本当にお世話になっております。児童・生徒の安全というのは本当に何ものにも代えがたいものだと思っておりますので、色々と試してみます。今、市長も言いましたように、地域の住民が制約を受けるのでご相談しなければいけません。それを踏まえながら対策を取っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

皆様に今日お配りしました「2021年度 市政懇談会 市政報告概要」という資料をご覧ください。今日は、町内会・自治会を含めた団体の代表の方、あるいは中心で活動されている方がお集まりになってお見受けしております。したがって、本日の資料として項目は10個ほどしかありませんが、皆さんのところに、地域の方からあれはどうなった、これはどうなっているのかと市政に関してお問い合わせがあると思っております。そういう質問を受けたときにこのメモを活用していただくという意図でお配りした次第です。

まず、新型コロナウイルスの関係で市役所が何をしてきたのかという質問があるかと思っております。1つめは去年の4月、5月に行いました、1人10万円の特別定額給付金事業、約432億円です。これは国の予算でやりました。

子育て世帯臨時特別給付金もやりました。約4億9千万円です。それから、これは商業者の方が助かったという意見がありましたが、中小企業者家賃補助事業、利子補助で約10億6千万円。第二弾が約5億2千万円。第三弾が約4億円。第四弾が約3億円と4回やっています。

医師会の皆さんに2億円の給付をしております。これは入院施設のある病院が対象です。

PCR検査センターが都内で8番目、多摩地域26市の中では1番目に、去年の4月オープンしました。

ひとり親家庭の臨時特別給付金もありました。キャッシュレス決済については、P a y

P a y において、プレミアムポイント事業を行いました。約 23 億円分のプレミアムポイントを市が負担して行いました。

飲食店のデリバリー支援は、出前館に頼んだ時のお店側と消費者側それぞれの費用を市が負担するキャンペーンと、デリバリー・テイクアウトを実施する飲食店への給付金事業を行い、約 2 億円投入しています。

介護サービス事業所等支援事業は約 2 億 8 千万円、障がい福祉サービス事業継続支援事業は約 1,800 万円です。

現在、ワクチン接種事業は、12 歳以上の全人口比 63.5%。高齢者が 89%、約 9 割です。

以下、最近の事例でございます。

〇ごと大作戦は、基本的に 12 月で終了です。約 300 の事業のエントリーをいただきました。参加した人数は、Web 上を含めて 200 万人です。目標は 100 万人でしたが、実際は 200 万人となりました。非常に良い成果が出ています。

多摩都市モノレール整備は、新しい駅を作りますので、その駅の周りの整備基金として 7 億 5 千万円です。

東京 2020 オリンピック・パラリンピックについては、南アフリカとインドネシアのホストタウンとなりました。東京 2020 オリンピック聖火リレーは、東京都での聖火リレーの初日に町田シバヒロで点火セレモニーが行われました。自転車競技ロードレースは小山、相原地区を通過しました。東京 2020 パラリンピックの事前キャンプは南地区の総合体育館で行いました。ちなみに事前キャンプを行ったインドネシアのパラバドミントン代表チームは、参加した選手のほとんどがメダルを獲得しました。

薬師池公園は西園にウェルカムゲートができています。非常に評判がいいところです。

野津田公園 G I O N スタジアムは、観客席を 10,000 席から 15,000 席に増設しました。昨日の試合から観客数の上限が 7,500 人に増え、5,500 人ぐらいの方が観戦に来られました。

鶴川駅南北の開発は、南側の区画整理事業が事業認可取れてスタートしました。北口は駅前広場の工事を始めました。

グランベリーパークは一昨年 11 月にスタートして、児童館、子どもクラブつみきがオープンしました。スヌーピーミュージアムもできています。

図師、小山田地域の熱回収施設は、来年の 1 月に稼働予定で、ほぼ建設は終了して機器の試運転を行っています。民間の運営になり、市の職員は配置転換となります。首都圏の公設の施設では初めてですが、生ごみを発酵させて出るメタンガスを使いエンジンで発電することができます。首都圏で初なので、視察が来ると思います。温浴施設は来年の 4 月にオープンします。資源ごみの処理施設は相原地区に 2025 年度にできる予定です。

子育ての関連では、保育所待機児童数は去年が 130 人で、今年の 4 月は 76 人まで減りました。

町田第一中学校は 2 学期から新校舎で授業を行っています。

さらに、小・中学校体育館の空調が、今年度全62校で整備完了します。発電設備も設置しています。

中学校の全員給食は、現在教育委員会で基本計画を作っており、市内3か所に給食センターを作る計画になっています。2025年度頃には、中学校の全員給食が始まる見込みです。

小・中学校再編計画は全市でやっております。教員の負担軽減では、中学校の教員の残業がだいぶ減りました。部活動の部分が残業に影響していましたが、それを指導員にお願いしています。

最後に、特別養護老人ホームの整備が進みまして、入所申し込みから1年未満に入所できた人の割合が、2009年度約45%だったものが今は約85%、だいたい85から90%の人が申し込みから1年で入所できるという時代になりました。ただし、要介護3以上の人が対象です。

《質疑》

小川自治会

「町田の教育」で、統合新設校意見交換会の南地区は10月9日の土曜日、小川小学校で10時から予定通り開催でよろしいですか。広報に載っていましたが確認です。参加する場合はどうすればいいですか。

学校教育部長

8月2日の広報に載せていましたが、こちらは9月15日号で訂正しております。緊急事態宣言は解除されましたが、集まっての開催が難しいということで、日にちは変わりませんがWeb開催のご案内しています。参加方法はお手数ですがホームページに載せてありますので、それを見ていただいております。

小川自治会

もう一点、質問ではありませんが境川金森調節池の上部利用について、10月23日土曜日午前10時と午後2時、南中学校体育館多目的室で開催されます。現在工事が進んでいて、予定では2026年3月に工事が終了します。町田市の下水道やスポーツの担当者が来て、皆さんのご要望を聞きたいという連絡がありました。是非ともご参加ください。要望も聞いてもらえると思います。

グランセリーナ自治会

教員の負担軽減ということで項目がありましたが、先生は部活動の指導をしなくなりましたよ、という理解でよろしいですか。

町田市長

遠征とかは、土日残業になります。この引率をしなくなると教員の残業がかなり減っています。

学校教育部長

部活動やる時には顧問が必要ですから、顧問として先生はいらっしゃいますが、実際遠征の引率は指導員が行うので、大分楽になっています。

グランセリーナ自治会

平日の放課後とかも指導もやっているか。

学校教育部長

そういう方もいらっしゃいます。ただ、その時間帯に指導してくれる人がどれだけいるのかというところもあるので、なかなかそこまで広がらないです。基本的には土日の引率をお願いしているところが多いです。今後いろんな部活に広げていこうということも考えています。

グランセリーナ自治会

この指導員の方も学校にいて、ただの引率の方ということになりますか。

学校教育部長

その学校によってです。急に見ず知らずの人と遠征に行くとはなかなかいかないで、普段からやっていただいて、遠いところには連れていってもらおうようにしています。

○閉会の挨拶

南地区町内会・自治会連合会 副会長